

【工業：土木科】

平成25年度 指導と評価の年間計画(シラバス)

盛岡工業高校 全日制課程

教科	製図	単位数	2	学科・学年	土木科・2学年	担当者	中野 靖博・小笠原常雄・藤澤 秀明		
使用教科書	「土木製図」実教出版			副教材					
到達目標(具体的な取り組み【評価基準を念頭に置いた指導上の留意点】)									
土木技術の基礎をなす科目であり、基礎的な知識と技術を習得し、実技をとおして製図の技法を十分修得し、実際に活用できる能力と態度を養成する。また、製図の課題として、描く構造物のしくみや各部の名称、そして意味を説明し、力学的な計算ができるようにする。									
学期	月	学習項目 (単元名、教材、学習領域)	主な学習活動・評価のポイント	評価方法	評価の重点				
					関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解	
前期中間	4	<平面図形の描き方> 1 様々な種類の直線の描き方 2 角の等分	・製図の基本を作図をとおして理解できる。(線の描き方：実線・寸法線・破線等) ・製図用具を正しく扱うことができる。	図面・授業態度	○	○	○	○	
	5	3 正多角形 4 面積 5 円錐曲線	・正弦曲線、余弦曲線が描ける。 ・図心の図式解法ができる。	図面・授業態度	○	○	○	○	
	6	6 投影図の描き方	・簡易図法を理解でき、描くことができる。	図面・授業態度	○	○	○	○	
前期末	6	課題「道路設計図 側溝・擁壁標準図」	・道路設計図 側溝・擁壁標準図を描く中で、側溝や擁壁の構造を理解できる。 ・勾配の比率を読み取り、正確に図面にすることができる。	図面・授業態度	○	○	○	○	
	7			図面・授業態度	○	○	○	○	
	8	課題「街路標準構造図」	・街路標準構造図において断面図と平面図の関係が理解できる。 ・道路の構造や各種ブロックの用途を理解し表現できる。	図面・授業態度	○	○	○	○	
9	図面・授業態度			○	○	○	○		
後期中間	9	課題「H形鋼橋りょう一般図」	・H形鋼橋りょう一般図において側面図と断面図、平面図の関係が理解できる。 ・橋梁の構造や各部材の構造力学的役割を理解し表現できる。	図面・授業態度	○	○	○	○	
	10			図面・授業態度	○	○	○	○	
学年末	11	課題「H形鋼橋りょう主桁構造図」	・H形鋼橋りょうにおいてフランジや接合部の構造が理解できる。 ・橋梁の構造や各部材の構造力学的役割を理解し表現できる。	図面・授業態度	○	○	○	○	
	12			図面・授業態度	○	○	○	○	
	1								
	2								
	3								